

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

千葉県立東葛飾高校 対 今治精華高校・通

■球場 明治神宮野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間30分 ■備考

■審判 球審:家田 塁審:福田 渡辺登 中衛

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
今治精華・通	四国・愛媛	0	2	0	0	0	0	0	0	0							2	3	1
東葛飾	千葉	0	1	2	2	0	1	0	0	x							6	5	2

**今治精華・通**

	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	左		井上 元希	4	0	0	0	二飛	三失			中飛		三振						
2	遊			宮野 和哉	3	0	1	0	三安	遊飛			遊ゴ			四球					
3	中			上田 大貴	3	0	0	0	三振		三ゴ			一邪		四球					
4	投	左	投	大塚 遼太郎	4	0	1	0	一邪		二飛			二安		三振					
5	一			松長 嗣寿樹	2	1	0	0		四球	三振			三振		死球					
6	三			藤田 直充	4	0	1	0		二飛		二ゴ		中2		三振					
7	捕			高橋 良太	3	1	0	0		四球		三ゴ		一邪			二直				
8	左			石川 拓実	1	0	0	0		四球		三振									
8		投		泉 尚	1	0	0	0								投ゴ					
8			二	川上 昂樹	1	0	0	0									三ゴ				
9	右			西本 海渡	4	0	0	0		遊飛			投ゴ		投ゴ		三振				
合計					30	2	3	0	残塁:7 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
大塚 遼太郎
泉 尚
大塚 遼太郎

捕手
上田 大貴

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
大塚 遼太郎	4	20	2	5	6	5
泉 尚	3	14	2	5	2	0
大塚 遼太郎	1	4	1	1	1	0

**東葛飾**

	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	遊		馬場 有希	4	1	2	1	二ゴ		四球	中安		三飛		遊安					
2	左			高城 祐宗	5	0	0	0	三振		三ゴ	三振		捕邪		三振					
3	遊	投		松澤 智啓	3	1	2	1	死球		中3		投邪		遊二						
4	捕	三		藤岡 俊	2	0	0	1	中飛		一ゴ		四球		四球						
4			右	山田 淳也	0	0	0	0													
5	三	捕		田村 祐貴	3	1	0	0		四球	捕ゴ		左飛		三ゴ						
6	二			尾身 竜走	2	1	0	0		死球		死球	三振		三振						
7	右		三	花崎 尚武	3	2	0	0		三振		投選		振逃	三振						
8	一			松田 龍世	2	0	1	2		二ゴ		死球		中安		四球					
9	中			木村 俊彦	4	0	0	0		三振		三振		三振		投ゴ					
合計					28	6	5	5	残塁:8 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
馬場 有希
松澤 智啓

捕手
藤岡 俊
田村 祐貴

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場 有希	7	28	3	5	3	0
松澤 智啓	2	8	0	3	3	0

■戦評

第59回大会の開幕試合は3年連続6回目出場の千葉県代表・県立東葛飾高校と3年ぶり5回目出場の四国地区代表・愛媛県今治精華高校通信制の対戦となった。2回表、今治精華は三つの四球で満塁とすると敵失により2点を先制する。追いつきたい東葛飾はその裏、四球の走者を盗塁で進め内野ゴロの間に1点を返す。続く3回には一死二塁から3番松澤の左中間への適時三塁打により同点。次打者の内野ゴロの間に松澤が生還し逆転に成功する。4回にも二つの死球と犠打、野選により無死満塁の好機に暴投と1番馬場の中前適時打で得点を重ね5-2と引き離しにかかる。3回以降無安打に抑えられていた今治精華は6回二死一塁から6番藤田が左中間二塁打を打ち二・三塁と好機を広げるも後続が打ち取られこの回無得点。その裏8番松田の中前適時打で1点を追加した東葛飾が6-2で勝利した。一方の今治精華は6回、8回の得点機にあと1本が出なかったのが痛かった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

横浜市立戸塚高校 対 岡山県立烏城高校

■球場 明治神宮野球場 第2試合 1回戦

■試合時間 2時間24分 ■備考 6回コールド

■審判 球審:伊藤 塁審:清水 谷川 高橋

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
烏城	東中国・岡山	0	0	0	0	1	0				1	1	8
戸塚	神奈川	3	0	1	1	2	4x				11	8	2

鳥城		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	捕		高原 恭平	3	0	0	0	投飛		遊失		三振							
2	二	投	遠藤 祐毅	1	0	0	0	四球		一ゴ		四球							
3	投	二	高原 孝太	3	0	0	0	捕邪			三飛	遊飛							
4	遊		井上 雄太郎	3	0	1	0		三振		中安		一飛						
5	一		岡 翔	3	0	0	0		三振		右飛		三邪						
6	三		岡田 篤樹	3	0	0	0		振逃		投ゴ		一飛						
7	中		山崎 勇人	2	0	0	0		三振			中飛							
8	左		高橋 裕希	1	1	0	0			左飛		四球							
9	右		塩見 彬	2	0	0	0			中飛		三失							
合計				21	1	1	0	残塁:5 併殺:0											

備考

■バッテリー

投手
高原 孝太
遠藤 祐毅
高原 孝太

捕手
高原 恭平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高原 孝太	4	0/3	28	4	2	9
遠藤 祐毅	1		3	1	0	0
高原 孝太		1/3	7	3	0	1

戸塚		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	遊		村山 勇吾	3	0	1	1	二ゴ	四球	投飛		四球	中安						
2	中		高橋 慶太	3	2	1	2	死球	三邪		四球	二ゴ	左安						
3	投		徳永 護	2	1	1	1	死球	三振		四球	左安							
4	三		小松 拓実	4	1	0	0	遊失	三ゴ		三振	遊ゴ							
5	一	捕	長ヶ部 克樹	3	2	0	1	左犠		遊失	遊ゴ		三失						
6	右		永田 祥	2	0	1	1	中安		四球	投ゴ								
6		右	吉田 康弥	0	1	0	0						四球						
7	捕		林 悠斗	2	0	1	1	左安		投失									
7	一		小橋 巨明	1	1	0	0					四球	投ゴ						
8	左		小松 優真	2	0	0	0	遊ゴ		捕邪		捕失							
8	打		多田 雅	1	0	1	1						右安						
8	走		松山 学	0	1	0	0												
9	二		平澤 修人	3	2	1	0		左2	遊ゴ		四球	遊選						
合計				26	11	7	8	残塁:11 併殺:0											

備考

■バッテリー

投手
徳永 護

捕手
林 悠斗
長ヶ部 克樹

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
徳永 護	6		24	1	5	3

■戦評

1回戦、神宮球場の第2試合は2年連続3回目出場の神奈川県代表・横浜市立戸塚高校と前年度準優勝、3年連続11回目出場の東中国地区代表・岡山県立烏城高校の対戦となった。初回、戸塚は二つの四死球と敵失で一死満塁の好機を作ると5番長ヶ部の犠飛で先制。さらに6番永田、7番林の連続適時打で計3点を奪い試合を優位に進める。3回、4回にも戸塚が1点ずつを加え5-0で迎えた5回表、烏城は相手のミスに乗り1点を返す。しかしその裏戸塚は烏城先発高原孝、救援した遠藤から2点を奪い再び点差を広げる。攻撃の手を緩めない戸塚は6回裏に2点を加えなおも一死満塁から2番高橋の適時二塁打により11点目を入れ6回コールド、11-1で戸塚が勝利した。戸塚は先発徳永が烏城打線を1安打1失点(自責0)に抑える好投を見せた。一方の烏城は主戦の高原孝が10四死球と制球に苦しみ守っては8個の失策を出すなど守備の乱れが痛かった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

新潟県立高田南城高校 対 天理高校

■球場 明治神宮野球場 第3試合 1回戦

■試合時間 1時間30分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:中衛 塁審:渡辺登 茂木 福田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	近畿・奈良	0	0	7	5	0					12	13	0
高田南城	信越・新潟	0	0	0	0	0					0	2	1

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中		飯田 佳伸	4	2	2	0	三ゴ		二安		左3	三ゴ							
2	左	右	松下 賢太郎	3	1	2	1	中安		三ゴ		中安	死球							
3	二		田頭 史也	4	2	3	1	三振		二安		左安	二安							
4	遊		西井 旬進	3	2	1	2	三振		右安		死球	中飛							
5	三		福澤 眞林	3	2	1	0		二安	四球		三ゴ	左飛							
5		三	矢野 孝平	0	0	0	0													
6	一		小阪 慎	3	2	2	5		遊ゴ	左2		右本								
6		一	小川 正直	0	0	0	0													
7	投		九鳥 恒	0	0	0	0		四球	四球										
7	打		牛尾 翔	1	0	0	0					振逃								
7		投	辰己 優貴	0	0	0	0													
8	捕		山本 侃	3	0	1	1			左安	三ゴ	三ゴ								
9	右		加藤 幸	3	1	1	0			遊安	三振	二ゴ								
9		左	久米 恭介	0	0	0	0													
合計				27	12	13	10	残塁:5 併殺:0												

備考
----

■バッテリー

投手
九鳥 恒
辰己 優貴

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
九鳥 恒	3	10	1	2	0	0
辰己 優貴	2	7	1	3	0	0

高田南城		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	三		大島 清次	2	0	0	0	三振		遊ゴ										
2	二	右 二	山岸 大輔	1	0	0	0	三振												
2	打		金井 稜	1	0	0	0				三振									
3	捕		橋立 祥也	2	0	2	0	中3			右安									
4	一	投 右	南波 清生	2	0	0	0	中飛			二ゴ									
5	中		林 晶文	2	0	0	0		捕邪		左飛									
6	遊		柴田 将成	2	0	0	0				三ゴ		三振							
7	右		渾川 純哉	1	0	0	0		捕邪											
7		一	城戸 竜太	1	0	0	0						右飛							
8	投	二 投	笠原 綾	1	0	0	0			一邪										
8			岡澤 亮	1	0	0	0						三振							
9	左		廣瀬 皆人	1	0	0	0			一直										
合計				17	0	2	0	残塁:2 併殺:0												

備考
----

■バッテリー

投手
笠原 綾
南波 清生
笠原 綾

捕手
橋立 祥也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
笠原 綾	2 1/3	13	7	2	1	5
南波 清生	1	9	4	1	3	6
笠原 綾	1 2/3	10	2	1	1	1

■戦評

1回戦、神宮球場の第3試合は2年連続6回目出場の信越地区代表・新潟県立高田南城高校と六連覇を目指す近畿地区代表・奈良県天理高校の対戦となった。試合が動いたのは3回表、天理は三連打で満塁の好機を作ると3番田頭、4番西井の連続適時打で3点を先制する。さらに高田南城2番南波からも6番小阪が適時二塁打を放つなどこの回大量7点を上げる。続く4回にも2番松下の適時打で1点を追加しなおも無死満塁と攻め立てる。高田南城はここで先発の笠原が再度マウンドに上がる。一死を奪うものの続く6番小阪に右翼越満塁ランニング本塁打を放たれ万事休す。天理は久島、辰己の継投で高田南城打線を2安打無得点に抑え5回コールド、12-0で勝利した。一方の高田南城は捕手の橋立が打っては全2安打、守っては天理の盗塁を2度阻止するなど存在感を示したが総合力で勝る天理の前に屈した。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴

茨城県立水戸南高校・通 対 京都府立朱雀高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間00分 ■備考

■審判 球審:田中 塁審:小松 杉田 宇田川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
朱雀	京都	0	0	0	1	6	0	0	0	0	7	9	1
水戸南・通	茨城	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3

朱雀		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中		中村 圭佑	4	0	0	1	投飛		三ゴ		二ゴ		捕犠		二ゴ				
2	三		松川 哲也	4	2	2	1	中安			中本	四球		右飛			三振			
3	捕		氏家 陣也	5	1	2	4	三振			右安	右本		二ゴ			三振			
4	遊		村上 智	4	1	0	0		遊飛		一併	三失			三失		四球			
5	二		水谷 友哉	5	0	1	0		遊飛		右3	右飛			三振		三ゴ			
6	投		船越 徹	4	0	2	1		中安		三ゴ	遊安			遊飛					
7	右		黒木 峻太	4	1	2	0		三ゴ			右安	左安		一ゴ					
8	左		大嶋 将且	4	1	0	0			投ゴ		一失	投ゴ			三振				
9	一		仲谷 凌	2	1	0	0			三ゴ		四球		死球		三振				
合計				36	7	9	7	残塁:7 併殺:1												
備考																				

■バッテリー

投手
船越 徹

捕手
氏家 陣也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
船越 徹	9	33	3	10	3	1

水戸南・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	一		野口 博基	3	1	0	0	死球		三振		投ゴ			二失					
2	中		関 嵐樹	4	0	0	0	遊飛		三振			右飛		三振					
3	遊	投	岩淵 和澄	4	0	2	1	二安		中安			三ゴ			三ゴ				
4	捕		石井 智博	4	0	1	0	三ゴ		遊ゴ			捕ゴ			左安				
5	投	左	坏 祐太	3	0	0	0	遊ゴ			一飛			投ゴ		四球				
6	左	右	大輪 利幸	4	0	0	0		二ゴ		三振			三振		三振				
7	二		篠田 孝之	3	0	0	0		三振		右飛			一飛						
8	右		大内 脩平	1	0	0	0		三振											
9		遊	石崎 健一	2	0	0	0					三振			遊ゴ					
9	三		戸田 誠	0	0	0	0			死球										
9		三	大内 崇誠	2	0	0	0					三振			三ゴ					
合計				30	1	3	1	残塁:5 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
坏 祐太
岩淵 和澄

捕手
石井 智博

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
坏 祐太	4	15	5	1	0	1
岩淵 和澄	5	26	4	5	4	3

■戦評

1回戦、駒沢球場の第1試合はともに10回目の出場となる茨城県代表・県立水戸南高校通信制と京都府代表・府立朱雀高校という常連校同士の対戦となった。1回裏、水戸南は一死二塁の好機に3番岩淵が二塁強襲安打を放つと二塁走者が本塁を陥れ1点を先制する。3回まで水戸南先発坏の前に抑えられていた朱雀は4回、2番松川の中堅越ランニング本塁打で同点としその後も3番氏家、5番水谷が安打を放つなど徐々に坏をとらえ始める。続く5回に朱雀はこの回代わった水戸南2番手岩淵から氏家の右翼越満塁ランニング本塁打と6番船越の適時内野安打など打者11人の猛攻で6点を上げ大きく点差を広げる。追いつきたい水戸南だが4回以降朱雀先発船越の前に完全に抑えられる。8回、9回と得点圏に走者を進めるも後続を絶たれ無得点で試合終了。7-1で朱雀が勝利した。一方の水戸南も6回以降緩い変化球で朱雀打線に的を絞らせなかっただけに5回の大量失点が痛かった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴 岐阜県立華陽フロンティア高校・通 対 科学技術学園高校  
 ■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 1回戦 ■試合時間 2時間17分 ■備考 8回コールド  
 ■審判 球審:池田 塁審:橋本 江口 進士

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
科学技術学園	東京2	3	0	0	1	3	0	2	2							11	12	1
華陽フロンティア・通	東海・岐阜	0	2	0	0	2	0	0	0							4	4	6

科学技術学園		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	二		高杉 駿	5	1	2	0	三飛	二ゴ		投ゴ		左安		右安							
2	投	一	野口 将聡	4	2	1	0	四球	投ゴ			二安	遊飛		二失							
3	捕		後藤 龍寿	4	2	2	0	左2		三振		投犠		左失	遊安							
4	中		小林 翼	5	3	3	3	遊ゴ		中安		右安		中本	二失							
5	遊		伊藤 一仁	5	2	1	3	遊安		三振		三失		三ゴ	一ゴ							
6	左		茶木 虹太	4	0	1	1	死球		投飛		二ゴ		中安	投ゴ							
7	右		淀川 健人	4	0	1	1	中安			三振	三振		三振								
8	一		俣田 信浩	4	1	1	0	中飛			左2		投飛	遊ゴ								
8		投	永田 翔	0	0	0	0															
9	三		濱岸 啓太	4	0	0	0		遊ゴ		三邪		捕飛		投ゴ							
合計				39	11	12	8	残塁:7		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
野口 将聡
永田 翔

捕手
後藤 龍寿

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
野口 将聡	7 1/3	31	3	6	6	2
永田 翔	0 2/3	2	1	1	0	0

■華陽フロンティア・通

華陽フロンティア・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	中	遊	林 利樹	3	0	1	0	二飛	四球			遊ゴ		投安								
2	二	中	酒井 一輝	4	0	0	0	二ゴ	遊飛			二直		中飛								
3	遊	投	清本 純	2	1	0	0	三振		死球		死球		中飛								
4	一	遊	飯沼 実	4	2	2	0		右安	三振		右2		遊ゴ								
5	投	一	鈴木 康広	3	1	1	0	四球	遊ゴ		二失			投安								
6	左		武山 諒汰	3	0	0	0	四球	捕飛				二ゴ		三振							
7	三		川合 研介	2	0	0	1	四球		三邪		振逃										
8	右		川合 和宏	3	0	0	0	三振		中飛		三振										
8		右	川村 匠平	0	0	0	0															
9	捕		大澤 周	3	0	0	0	三振		中飛		中飛										
合計				27	4	4	1	残塁:5		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
鈴木 康広
清本 純

捕手
大澤 周

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木 康広	2	11	3	0	2	3
清本 純	6	31	9	5	0	3

■戦評

1回戦、駒沢球場の第2試合は19年ぶり2回目出場の東海地区代表・岐阜県立華陽フロンティア高校通信制と2年連続10回目出場の東京第2代表・科学技術学園高校の対戦となった。先攻の科学技術学園は初回、四球と安打で好機を作ると5番伊藤、7番淀川が適時打を打ち率先よく3点を先制する。追いつきたい華陽フロンティアは2回、突如制球を乱した科学技術学園先発野口から押し出しと暴投により2点を返しとする。引き離したい科学技術学園は4回、5回と足で華陽フロンティアを揺さぶり計4点を上げ7-2と再び引き離しにかかる。追いかける華陽フロンティアは5回裏、敵失により2点を返す。しかし科学技術学園は7回に4番後藤の2点ランニング本塁打、8回には二つの敵失から2点を奪い7点差とし8回コールド、11-4で勝利した。一方の華陽フロンティアにとっては科学技術学園に8盗塁を許し自らは3度走者が刺されるなど両チームの走力の差が明暗を分ける形となってしまう無念の敗戦となった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

師友塾高校・通 対 飛鳥未来高校・札幌・通

■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 1回戦

■試合時間 3時間00分 ■備考

■審判 球審:植木 塁審:宇田川 田中 小松

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
師友塾・通	西中国・広島	2	0	1	0	0	0	5	2	2	12	15	4
飛鳥未来札幌・通	北海道	0	3	0	0	0	1	0	1	0	5	6	5

師友塾・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	7	8	9						
1	捕		力武 充	5	4	3	1	四球		投ゴ		捕飛		投安		一安	中安						
2	一	投	山中 偉央	5	3	4	4	四球		中安		三飛		遊安		三安	左2						
3	中		上島 巧也	4	1	2	1	三ゴ		投犠			三失	左安		中安	死球						
4	投	一	弦巻 陽平	5	1	2	1	中3		右安				三ゴ		四球	三振						
5	三	投	白川 溪太	4	1	2	1	左安		三振			左安	一失		四球							
6	二		鈴木 和寿	2	0	1	0	二安			二ゴ		投犠	四球									
6	打	二	高橋 健太	1	0	0	0									三振							
7	右		吉田 嗣実	4	0	0	0		捕ゴ		右飛		一ゴ	四球			三振						
8	左		琴谷 惣一	2	0	0	0		投ゴ		捕飛												
8	打	右	高橋 拓実	3	1	0	0							左失	三振		一ゴ						
9	遊		檜崎 敏秀	3	1	1	0		投ゴ			三安		投犠		投ゴ	四球						
合計				38	12	15	8	残塁:10		併殺:0													
備考																							

■バッテリー

投手
弦巻 陽平
山中 偉央
弦巻 陽平
白川 溪太
山中 偉央

捕手
力武 充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
弦巻 陽平	1 2/3	6	1	1	1	0
山中 偉央	1	6	1	0	1	0
弦巻 陽平	3 2/3	14	1	3	1	0
白川 溪太	2 1/3	10	2	0	1	1
山中 偉央	1	4	1	1	0	0

飛鳥未来札幌・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
1	三	投	小林 慶毅	5	0	0	0	三振	二飛			二飛	三邪			二ゴ							
2	左		徳田 裕佑	5	0	2	1	投ゴ	中安			捕飛		三ゴ		中安							
3	投	捕	小林 和生	5	0	0	0	捕飛	一ゴ			左飛		三邪		一邪							
4	一		石山 航也	5	2	2	0		捕安	捕飛			左3	遊飛		三振							
5	捕	投	村形 昌彦	4	1	0	0		二失	遊飛			遊飛		一ゴ								
6	中		吉田 龍樹	3	2	1	0		四球	投ゴ				三振		左安							
7	二		棟方 翔	4	0	0	0		三ゴ		投ゴ			投失		三ゴ							
8	右		大川原 諒	2	0	1	1		四球		三振			四球		右安							
9	遊		長谷川 佑太	3	0	0	0		一失		三振			死球		一邪							
合計				36	5	6	2	残塁:8		併殺:0													
備考																							

■バッテリー

投手
小林 和生
村形 昌彦
小林 慶毅

捕手
村形 昌彦
小林 和生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
小林 和生	6 1/3	29	9	1	2	4
村形 昌彦	2 1/3	16	4	3	5	3
小林 慶毅	1/3	4	2	1	1	1

■戦評

1回戦、駒沢球場の第3試合は3年連続3回目出場の西中国地区代表・広島県師友塾高校通信制と初出場の北海道代表・飛鳥未来高校札幌通信制の対戦となった。試合は序盤、点の取り合いとなった。1回表、師友塾は相手先発小林和の立ち上がりを攻め適時三塁打などで2点を先制する。対する飛鳥未来は2回裏、安打などで無死満塁の好機を作ると相手の暴投によりまず1点を返す。さらに救援した師友塾2番山中から2番徳田が適時打を放つなどこの回3点を奪い試合をひっくり返す。しかし師友塾も3回表、4番弦巻の適時打により試合を振り出しに戻す。再び試合が動いたのは6回表、飛鳥未来は4番石山が長打を放つと中継が乱れる間に一気に生還し1点を勝ち越す。粘る師友塾は7回表、1番力武、2番山中の連続適時打で逆転すると相手のミスにもつけ込みこの一回一挙5点を奪い試合を決めた。8回、9回にも2点ずつを加えた師友塾が相手の反撃を1点に抑え12-5で勝利した。一方の飛鳥未来は6回裏に1点を勝ち越した後、なおも好機で追加点を奪えなかったのが痛かった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

福岡県立三池工業高校 対 埼玉県立越ヶ谷高校

■球場 府中市民球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間34分 ■備考

■審判 球審:末柄 塁審:齊藤 石島 渡辺

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
三池工業	福岡	0	2	0	0	0	1	0	5	0	8	10	8
越ヶ谷	埼玉	0	0	3	1	1	0	0	0	0	5	7	4

三池工業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9				
1	三	石橋 達彰	4	1	1	0	遊ゴ	二失		左飛	死球		四球		一安					
2	左	中島 凌	5	0	1	0	死球	遊ゴ		捕邪		遊失		捕邪		投安				
3	捕	木下 結哉	5	1	1	0	四球	三振		三振		左安		三ゴ		三振				
4	投	河野 誠也	5	1	2	3	遊ゴ		中安		四球	中飛		左2		二飛				
5	中	香田 雄基	3	1	0	0		三ゴ	三併		四球		三邪	四球						
6	一	野田 流星	4	1	1	1	四球	捕失		三ゴ		遊飛	左安							
7	遊	紫牟田 恭由	4	1	1	1		中2	二ゴ		三振		一邪	四球						
8	右	柳田 和生	3	1	2	0		一安		四球		右3		四球	三振					
9	二	浦田 隆世	3	1	1	0		四球		中安		中飛		四球		三振				
合計			36	8	10	5	残塁:14 併殺:1													
備考																				

■バッテリー

投手	捕手
河野 誠也	木下 結哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
河野 誠也	9	38	7	8	1	1

越ヶ谷		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	畑中 竜姫	5	1	1	1	一邪		三安		三失	三振		中飛					
2	二投	川上 克也	5	0	1	0	投ゴ		三失		遊安		三振	三振					
3	一	篠塚 雄大	4	1	0	0	三振		遊ゴ		一失		一ゴ						
4	中	中村 彰汰	4	0	0	0		二ゴ	一飛		遊失		三振						
5	投	井澤 健太郎	4	0	1	0		中飛		二安		三ゴ		遊ゴ					
6	捕	長谷川 拓斗	4	1	2	0		三振		中安		中安		三ゴ					
7	右	池田 仁	4	0	1	0			遊飛	左安		一失		三失					
8	左	田口 隆聖	3	1	0	0			死球	捕邪		中飛		三振					
9	三	三室 宜弘	4	1	1	0			左2	遊ゴ		投ゴ		三振					
合計			37	5	7	1	残塁:6 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
井澤 健太郎	長谷川 拓斗
川上 克也	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
井澤 健太郎	6	31	6	3	8	2
川上 克也	3	18	4	3	5	3

■戦評

1回戦、府中市民球場の第1試合は2年連続3回目出場の福岡県代表・県立三池工業高校と34年ぶり3回目出場の埼玉県代表・県立越ヶ谷高校の対戦となった。2回表、三池工業は7番紫牟田の適時二塁打と敵失により2点を先制する。しかし3回裏、越ヶ谷は9番三室の適時二塁打などで3点を奪い試合をひっくり返す。さらに4回、5回にも三池工業の守備の乱れをついて1点ずつを奪い5-2とし試合を優位に進める。追いかける三池工業は6回、8番柳田の三塁打から1点を返し反撃ののろしを上げる。8回には一死満塁から4番河野が走者一掃の適時二塁打を放ち逆転に成功する。さらにこの回2点を追加し計5点を上げる。終盤の越ヶ谷の攻撃を0点に抑え結局8-5で三池工業が勝利した。三池工業の河野は投げては越ヶ谷打線から7安打を浴びながらも四死球1、自責点1に抑える粘投で攻守に渡って活躍した。一方の越ヶ谷は6回以降1安打に抑えられたのが痛かった。

■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

沖縄県立泊高校 対 栃木県立宇都宮工業高校

■球場 府中市民球場 第2試合 1回戦

■試合時間 2時間40分 ■備考

■審判 球審:大田 塁審:嶋田 鹿野 石塚

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
泊	沖縄	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	3
宇都宮工業	北関東・栃木	2	0	1	0	0	0	0	1	x	4	6	1

泊		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	中		島袋 大	4	1	0	0	四球	三振		三振			一ゴ		三振				
2	一		運天 健吾	3	0	0	0	四球		三振		投ゴ		三振						
3	投	捕	上江洲 盛晃	4	0	2	0	投安		三振		右安			三振					
4	捕	投	長嶺 将人	2	0	0	0	三振		死球		中飛			四球					
5	二		野原 真之輔	2	0	1	1	右安		四球		遊飛			投犠					
6	三		国吉 純平	4	0	0	0	三振		一邪			三振		投ゴ					
7	右		真志取 省吾	3	0	0	0	捕邪			三振		三振							
7		右	國吉 凌也	1	0	0	0									投ゴ				
8	左		入江 草太	3	1	1	0		三振		四球		三振			遊安				
9	遊		安里 翔	4	0	1	1		投ゴ		三振			三振		右2				
合計				30	2	5	2	残塁:8 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
上江洲 盛晃
長嶺 将人

捕手
長嶺 将人
上江洲 盛晃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
上江洲 盛晃	3	17	2	0	5	2
長嶺 将人	6	21	4	2	2	0

宇都宮工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	左		金田 悠司	2	1	0	0	死球	四球		一ゴ		二ゴ		四球					
2	遊		菊池 優士	4	1	1	0	投安	死球		遊直			遊ゴ	三振					
3	三		水口 拓也	3	0	0	1	右犠	投飛			一邪		中飛						
4	捕		寺下 一史	3	1	1	0	一失	死球		中安			投失						
5	二		二階堂 凌介	2	0	1	0	投飛		投犠		四球		一安						
6	中		金森 教泰	4	0	1	0	遊飛		投飛		三安		中飛						
7	一		平松 茂雄	3	0	1	1		四球	中安		三ゴ			投ゴ					
8	右		河内 開	4	0	0	0		投ゴ	遊飛			投ゴ		三振					
9	投		蕎麦田 翔太	4	1	1	0		二ゴ		投ゴ		遊ゴ		中安					
合計				29	4	6	2	残塁:10 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
蕎麦田 翔太

捕手
寺下 一史

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
蕎麦田 翔太	9	37	5	16	6	2

■戦評

1回戦、府中市民球場の第2試合は8年ぶり5回目出場の沖縄県代表・県立泊高校と4年ぶり18回目出場の北関東地区代表・栃木県立宇都宮工業高校の対戦となった。試合は両軍ともに相手先発の不安定な立ち上がりを攻め得点を上げた。試合の主導権を握ったのは宇都宮工業。3回に四球で出塁した走者を犠打で手堅く進め7番平松の適時打で得点差を2点とする。中盤以降、宇都宮工業先発蕎麦田は三者連続を含む10奪三振の好投。泊は2番手長嶺が要所を抑える投球で互いに譲らず2点差のまま試合は終盤へ。8回裏、宇都宮工業は二死から安打と四球で好機を作ると泊の守備の乱れに乗じて貴重な追加点を上げる。最終回、粘る泊も9番安里の適時二塁打で1点を返したが反撃もここまで。先発蕎麦田が145球、16奪三振の力投で完投した宇都宮工業が4-2で勝利した。一方の泊は序盤制球の定まらなかった蕎麦田から1点しか奪えなかったのが最後まで響いた。



■日時 平成24年8月20日(月) ■天候 晴れ

長尾谷高校・通 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 府中市民球場 第3試合 1回戦

■試合時間 3時間37分 ■備考 延長11回

■審判 球審:原田 塁審:石島 末柄・齊藤 渡辺真

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				計	安	失
静岡中央	山静・静岡	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1				5	3	3
長尾谷・通	大阪	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0				4	11	3

8月20日、8回裏終了時点で球場使用時間制限により、サスペンデッドゲームとなる。  
大会特別規定により特別継続試合を8月21日府中球場にて9回表より実施した。

静岡中央		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
1	遊		望月 優真	3	3	1	0	四球		中飛		四球		中安	四球			中失				
2	一		多々良 光沙希	1	1	0	1	死球		死球		死球		犠失	死球			遊ゴ				
3	三		井上 亮	4	0	0	0	投犠		遊飛		三振		投飛	二ゴ			四球				
4	捕		杉浦 大地	5	0	0	0	三振			三振		三振	三振		右飛		死球				
5	右	投	川島 敏樹	3	1	0	0	三振			死球		四球	死球		三振		三振				
6	二		繁田 紘輝	4	0	1	0		三振		三振		四球	三安			三振					
7	左		日高 健太	4	0	1	0		右飛		投ゴ		四球	三振			中安					
8	投		近藤 一輝	1	0	0	0		投ゴ													
8	中	右	金澤 勇士	4	0	0	0					三振	右飛		三振		投併					
9	中	右	井本 匡亮	5	0	0	0			三振		一ゴ	三振		三振		三振					
				合計	34	5	3	1	残塁:12 併殺:0													
備考																						

■バッテリー

投手
近藤 一輝
川島 敏樹

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 一輝	2 1/3	13	5	0	2	1
川島 敏樹	8 2/3	40	6	13	7	1

長尾谷・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
1	三		植田 凌右	4	1	1	0	四球	遊ゴ		四球		一ゴ		三安		遊ゴ					
2	左		土井 敏功	6	0	3	1			右安	三失		左3		三振		中2					
3	一		今井 翼	5	0	1	0	捕邪		左安	三振		三振		四球		二飛					
4	投	遊	中村 風人	5	0	0	0	一飛		遊ゴ	三振		四球		遊飛		投ゴ					
5	捕		木村 善太郎	4	0	2	0		左2	死球		左安	四球		三振		三振					
6	遊	投	釜田 新	6	1	2	0		遊安	遊飛		三振	中飛			三振		投安				
7	中		柏村 友也	6	0	0	0		二ゴ	三振		三振		二飛		三振		一邪				
8	右		今川 達貴	3	1	0	0		四球		死球	遊ゴ		三振		四球		中飛				
9	二		吉田 優希	5	1	2	1		中安		一ゴ		左2	三ゴ		三振						
				合計	44	4	11	2	残塁:16 併殺:1													
備考																						

■バッテリー

投手
中村 風人
釜田 新

捕手
木村 善太郎

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中村 風人	5 1/3	25	0	9	9	2
釜田 新	5 2/3	25	3	9	5	0

■戦評

1回戦、府中市民球場の第3試合は前年度三位、山静地区代表・静岡県立静岡中央高校と3年ぶり3回目出場の大阪府代表・長尾谷高校通信制の対戦となった。試合は2回に先制した長尾谷が4回にも2点を追加し優位に進める。静岡中央も5回、6回と隙のない走塁で無安打ながら1点ずつを奪い追いつく。引き離したい長尾谷は6回裏、2本の長打で1点を追加する。粘る静岡中央は7回、上位打線がまたもや隙のない走塁で2点を奪い試合を振り出しに戻す。その後同点のまま8回裏終了時に球場使用制限時間となり翌日の第1試合に特別継続試合となった。約12時間後の翌日午前9時過ぎに9回表より再開されると両軍とも前日の疲れも見せず互いに譲らず試合は延長戦へと突入した。10回裏、長尾谷は2番土井がこの試合3安打目となる二塁打を打ち一死二塁と一打サヨナラの好機を作るも後続が断たれ無得点に終わる。すると11回表、今度は静岡中央この回先頭1番望月が敵失で出塁するとすかさずこの試合6回目となる盗塁で三塁を陥れ好機を広げる。続く2番多々良の内野ゴロの間に生還し貴重な1点を上げる。その裏の長尾谷の攻撃を0点に抑え2日間、延べ3時間37分の熱戦に終止符を打ち静岡中央が5-4で勝利した。一方、惜しくも敗れた長尾谷は11安打を打ちながらも12残塁と攻撃の決め手を欠いたことが痛かった。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

京都府立朱雀高校 対 青森県立北斗高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 2回戦

■試合時間 1時間36分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:福田 塁審:高橋 杉田 茂木

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
北斗	北東北・青森	0	0	0	0	1	0	0			1	2	3
朱雀	京都	0	0	4	0	2	3	X			9	11	1

北斗		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	投	川田 慎也	3	0	1	0	左安		三振			投飛						
2	二	入間川 彰斗	3	0	0	0	三振			三振		二飛						
3	捕	飯田 浩司	3	0	0	0	三振			投ゴ		三振						
4	一	千葉 昂平	3	0	0	0		一邪		投ゴ			遊ゴ					
5	左	三上 憲太	3	1	1	0		捕邪			右安		三振					
6	三	松浦 勇樹	2	0	0	0		三振			四球		三ゴ					
7	中	佐藤 孝樹	2	0	0	0			三振		二ゴ							
8	右	三浦 雄太	2	0	0	0			三振		二ゴ							
9	遊	内田 大生	1	0	0	0			四球		中飛							
合計			22	1	2	0	残塁:2 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
川田 慎也

捕手
飯田 浩司

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
川田 慎也	6	35	11	2	3	5

朱雀		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	二	船越 徹	3	1	0	0	捕飛		三失	四球	遊ゴ							
2	三	松川 哲也	4	2	1	1	捕ゴ		投失	中飛		中本						
3	投	氏家 陣也	3	2	1	0	二飛		四球	左飛		右3						
4	遊	村上 智	4	1	0	0		三ゴ	三失		三振	二飛						
5	中	水谷 友哉	4	2	3	3		三直	左安		遊安	右安						
6	捕	黒木 竣太	4	1	3	1		中3	中2		遊安	三邪						
7	左	中村 圭佑	4	0	2	1		三ゴ	二ゴ		捕安	中安						
8	右	酒井 一喜	3	0	1	1			三振	死球	投安	三飛						
8	右	中地 康貴	0	0	0	0												
8	右	大嶋 将且	0	0	0	0												
9	一	仲谷 凌	1	0	0	1			投ゴ	投犠	中犠							
合計			30	9	11	8	残塁:8 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
氏家 陣也

捕手
黒木 竣太

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
氏家 陣也	7	24	2	9	2	0

■戦評

2回戦、神宮球場の試合は1回戦を7-1で勝ち上がった朱雀高校と2年連続18回目出場の北東北地区代表・青森県立北斗高校の戦いとなった。朱雀は3回、北斗の守備の乱れから1点を先制すると5番水谷、6番黒木の連続適時打により3点を加え試合を優位に進める。5回表、北斗は相手の悪送球の間に1点を返す。その裏朱雀は三者連続安打により一死満塁とすると8番酒井がスクイズを試みこれが内野安打となり1点を追加。続く9番仲谷の中堅犠飛でもう1点加え6-1と点差を広げる。6回には松川の右中間ランニング本塁打や2本の適時打で計3点を上げ試合を決めた。7回表の北斗の攻撃を三者凡退に抑えた朱雀が7回コールド、9-1でベスト8に進出した。一方、敗れた北斗は散発の2安打、9三振を喫するなど打線の元気のなさが敗因となってしまった。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

科学技術学園高校 対 師友塾高校・通

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 2回戦

■試合時間 2時間28分 ■備考

■審判 球審:江口 塁審:谷口 清水 橋本

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
科学技術学園	東京2	0	0	0	0	0	1	0	0	0							1	4	6
師友塾・通	西中国・広島	1	1	1	0	0	0	0	0	X							3	5	0

科学技術学園

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	高杉 駿	3	1	1	0	二ゴ		三振			三安		投犠					
2	一 投	野口 将聡	2	0	0	0	三振			四球		四球		投ゴ					
3	捕	後藤 龍寿	4	0	1	1	二直			守妨		左安			三振				
4	中	小林 翼	3	0	0	0		遊直		三振		中飛			四球				
5	遊	伊藤 一仁	4	0	1	0		三ゴ			三振		左3		捕飛				
6	左	茶木 虹太	3	0	0	0	二飛				三振		三振						
6		雨宮 吉孝	1	0	0	0									右飛				
7	右	淀川 健人	3	0	0	0			投ゴ		投ゴ		三ゴ						
8	三	濱岸 啓太	2	0	1	0			遊安			三ゴ		四球					
9	投	永田 翔	1	0	0	0			三振										
9	一	俣田 信浩	2	0	0	0						遊ゴ		投ゴ					
合計			28	1	4	1	残塁:5		併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手
永田 翔
野口 将聡

捕手
後藤 龍寿

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
永田 翔	2 0/3	13	3	3	3	1
野口 将聡	7	24	2	5	3	0

師友塾・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	捕	力武 充	4	0	1	0	中直	三振		投犠		三安		三振					
2	一 投	山中 偉央	4	1	1	1	中本	四球		二ゴ			遊飛	三振					
3	中	上島 巧也	4	0	2	0	左2	三ゴ		一飛			左2						
4	投 三	弦巻 陽平	3	1	1	0	三振		中安		三ゴ		四球						
5	三 投	白川 溪太	2	0	0	0	三振		投犠		四球		三振						
6	二	鈴木 和寿	2	1	0	0		死球	三振		捕犠		捕失						
7	左	琴谷 惣一	3	0	0	0		死球	三振		一ゴ		右飛						
8	右	吉田 嗣実	0	0	0	0		犠失											
8	打 右	高橋 拓実	2	0	0	0						投ゴ		一失					
9	遊	檜崎 敏秀	3	0	0	0			投犠		四球		一ゴ		捕飛				
合計			27	3	5	1	残塁:10		併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手
弦巻 陽平
白川 溪太
山中 偉央

捕手
力武 充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
弦巻 陽平	5	16	1	6	1	0
白川 溪太	1 0/3	7	3	0	1	1
山中 偉央	3	10	0	1	2	0

■戦評

2回戦、駒沢球場の第1試合は1回戦でも二桁得点を上げた科学技術学園高校と師友塾高校の戦いとなった。試合は1回戦とは一転してロースコアの展開となった。師友塾は初回、2番山中の中堅越ランニング本塁打で1点を先制すると2回、3回にも相手の守備の乱れからそれぞれ1点を加え3点のリードを奪う。一方の科学技術学園は6回二死から1、2番が作った好機に3番後藤が適時打で応え1点を返す。3回途中から救援した科学技術学園主戦野口は4回以降、師友塾の攻撃を無得点に抑え味方の援護を待つ。追いつきたい科学技術学園は7回以降、毎回得点圏に走者を進めるもの師友塾3番手山中から追加点を奪えず、3-1で逃げ切った師友塾がベスト8に進出した。一方、敗れた科学技術学園にとっては中盤以降師友塾の追加点を許さなかっただけに序盤の3失点が悔やまれる試合となってしまった。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

福岡県立三池工業高校 対 兵庫県立西宮香風高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 2回戦

■試合時間 1時間54分 ■備考

■審判 球審:宗像 塁審:伊藤 家田 小松

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
西宮香風	兵庫	3	0	1	0	3	0	0	1	0	8	11	4
三池工業	福岡	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4	2	4

西宮香風		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中	上田 春樹	4	1	1	0	遊失	三振			投ゴ	死球		中安				
2	一左	中山 裕士	4	1	1	0	犠失	三振			中飛	捕ゴ		右安				
3	捕	出上 毅	4	2	1	0	捕邪		投安		四球		三邪		三振			
4	遊一	土井 一生	4	2	4	4	右3		中犠		中安		遊安		左安			
5	三	佐藤 魁斗	4	1	2	2	中安		二ゴ		右3		左併					
5		丸尾 滉希	1	0	0	0									三ゴ			
6	右	望月 直哉	5	0	0	0	左飛		左飛		中飛			二ゴ	三ゴ			
7	左	寺崎 裕文	2	0	0	0	投ゴ			一失								
7	打	川口 誠礼	1	0	0	0						右飛						
7		佐藤 勇樹	1	0	0	0								中飛				
8	二遊	藤原 大貴	4	1	2	1		左安		捕邪		投ゴ		中本				
9	投二	河邊 勇太	3	0	0	0		三振		三直		一失		四球				
合計			37	8	11	7	残塁:7 併殺:1											
備考																		

■バッテリー

投手
河邊 勇太
佐藤 勇樹

捕手
出上 毅

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
河邊 勇太	5	17	1	6	0	0
佐藤 勇樹	4	18	1	3	4	0

三池工業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	三	石橋 達彰	3	1	1	0	中安		投ゴ			四球		投ゴ				
2	左投	中島 凌	3	1	1	0	三振		三ゴ		四球		右安					
3	捕	木下 結哉	4	0	0	0	三振		投ゴ		三振		捕飛					
4	投遊	河野 誠也	4	1	0	0	三振		一ゴ		遊ゴ			一ゴ				
5	中	香田 雄基	4	0	0	0		三振			三邪	一邪		遊ゴ				
6	一	野田 流星	4	1	0	0		三振			三失		遊飛		振逃			
7	遊左	紫牟田 恭由	3	0	0	0		投ゴ			中飛		一失		四球			
8	右	柳田 和生	4	0	0	0			三直		三失		三併		三ゴ			
9	二	浦田 隆世	2	0	0	0			三振			死球		三振				
合計			31	4	2	0	残塁:4 併殺:1											
備考																		

■バッテリー

投手
河野 誠也
中島 凌

捕手
木下 結哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
河野 誠也	4 2/3	23	6	3	1	4
中島 凌	4 1/3	19	5	1	2	1

■戦評

2回戦、駒沢球場の第2試合は1回戦を終盤の逆転で制した三池工業高校と2年連続2回目出場の兵庫県代表・県立西宮香風高校の戦いとなった。先攻の西宮香風は初回、敵失により出塁した二人の走者を4番土井が適時三塁打、5番佐藤魁も中前適時打で続き3点を先制する。3回には安打と二つの盗塁で無死三塁の好機に4番土井が今度は中堅犠飛を打ち追加点を上げる。5回にも4番、5番の連続適時打などで3点を奪い7-0と点差を広げる。4回まで1安打に抑えられていた三池工業は5回に二つの敵失から1点を返すと続く6回、三つの四死球で満塁の好機を作ると3番河野の内野ゴロを併殺を狙った西宮香風の送球が悪送球となり外野を点々とする間に3点を上げ7-4と追いつがる。しかし三池工業の反撃もここまで。8回に8番藤原のランニング本塁打により1点を加えた西宮香風が8-4で勝利しベスト8に進出した。一方、敗れた三池工業は初回に二つの失策から3点を先制され厳しい展開となってしまったのが悔やまれる。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

宮城県貞山高校 対 栃木県立宇都宮工業高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 2回戦

■試合時間 2時間19分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:進士 塁審:渡辺登 植木 宇田川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
貞山	南東北・宮城	2	1	1	0	3	3	0			10	8	1
宇都宮工業	北関東・栃木	0	0	0	0	1	1	0			2	5	2

貞山		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	二	星 昇太	5	1	1	0	遊ゴ	中ゴ		投ゴ		中安	投ゴ					
2	捕	平田 智暁	1	2	1	2	四球	左安			死球	犠失						
3	遊	齋藤 裕弥	4	2	1	0	右安	三振			三選	左失						
4	中	佐々木 裕也	4	2	2	2	中安		遊安		遊ゴ	一邪						
5	一	野邊 繁輝	3	1	1	1	三振		三振		二安	四球						
6	三	一井 春己	4	0	0	0	三振		捕邪		左飛	遊ゴ						
7	左	伊藤 健太	3	0	1	1		死球	三振		左安		投ゴ					
8	右	佐藤 智将	4	0	0	0		三飛		三振	遊飛		遊ゴ					
9	投	和田 天風	2	2	1	0		左安		中飛		四球						
9	三	平山 美心	0	0	0	0							四球					
合計			30	10	8	6	残塁:6			併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
和田 天風
一井 春己
齋藤 裕弥

捕手
平田 智暁

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
和田 天風	5	20	4	3	0	1
一井 春己	1	4	1	2	0	1
齋藤 裕弥	1	3	0	0	0	0

宇都宮工業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	三	金田 悠司	3	0	0	0	遊ゴ		二ゴ		一ゴ							
2	二	二階堂 凌介	3	0	0	0	二失		三振		捕ゴ							
3	遊	水口 拓也	3	1	1	0	三ゴ			三ゴ		中3						
3		小泉 裕介	0	0	0	0												
4	捕	寺下 一史	3	0	0	0	三振			投ゴ		三振						
5	投	菊池 優士	3	0	0	0		左飛		遊ゴ		投ゴ						
6	一	平松 茂雄	3	1	1	0		三振			左2	三振						
7	中	金森 教泰	3	0	1	0		遊ゴ			左2		遊ゴ					
8	左	蕎麦田 翔太	3	0	1	1			一ゴ		遊安		右飛					
9	右	河内 開	3	0	1	0			二安		三ゴ		左飛					
合計			27	2	5	1	残塁:4			併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
菊池 優士
蕎麦田 翔太
水口 拓也
金森 教泰

捕手
寺下 一史

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
菊池 優士	4 2/3	25	7	6	3	6
蕎麦田 翔太	1/3	4	1	0	1	1
水口 拓也	1	4	0	0	1	0
金森 教泰	1	4	0	0	1	0

■戦評

2回戦、駒沢球場の第3試合は7年連続7回目出場の南東北地区代表・宮城県貞山高校と1回戦で泊高校に競り勝った宇都宮工業高校の戦いとなった。貞山は初回、一死二・三塁の好機に4番佐々木の適時打で2点を先制する。2回には2番平田の適時打、3回には4番佐々木が内野安打で出塁するとすかさず二盗・三盗を決め足で相手を揺さぶりそれぞれ1点ずつを加え4-0と試合の主導権を握る。攻撃の手を緩めない貞山は5回にも2本の適時打などで3点を奪いさらに点差を広げる。何とかしたい宇都宮工業は5回、三連打で1点を返すもすぐさま3点を奪われ苦しい展開となる。6回に3番水口の三塁打から1点を返すが宇都宮工業の反撃もここまで。7回を無四球にて3投手による継投で抑えた貞山が7回コールド10-2でベスト8に進出した。一方、敗れた宇都宮工業にとっては1回裏の好機に得点を上げていればもう少し違った試合展開になっていたと思われる。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

静岡県立静岡中央高校 対 石川県立小松北高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第4試合 2回戦

■試合時間 2時間17分 ■備考

■審判 球審:田中 塁審:伊藤 中衛 家田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
小松北	北陸・石川	2	0	0	0	0	0	0	0	2							4	2	6
静岡中央	山静・静岡	3	1	0	0	0	2	2	0	X							8	5	5

小松北		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	捕	古窪 翼	4	0	0	0	三ゴ		三振			三ゴ		三振						
2	遊	島田 龍之介	3	1	0	0	三振		投ゴ			三振			死球					
3	投	福田 陽平	2	1	0	0	四球			投ゴ		三振			四球					
4	三	城至 快晴	3	2	0	0			投ゴ				一ゴ		三ゴ					
5	二	中左 諒	4	0	1	1	三振		投ゴ				三ゴ		右安					
6	左	坂下 優斗	3	0	0	1		四球			三振		三失		二ゴ					
7	中	岡野 舞人	4	0	1	0		三振			右3			三振	二飛					
8	右	池長 イサオ	2	0	0	0		三振			三振			四球						
9	一	水上 龍心	3	0	0	0			三振		三振			三振						
合計			28	4	2	2	残塁:3		併殺:0											
備考																				

■バッテリー

投手
福田 陽平

捕手
古窪 翼

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
福田 陽平	8	35	5	10	5	3

静岡中央		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	投	望月 優真	4	1	1	1	振逃	中安			投飛		三振							
2	一	多々良 光沙希	4	2	2	0	遊安	反打			二ゴ		三安							
3	二	繁田 紘輝	2	2	0	0	捕失		遊ゴ			死球	四球							
4	捕	杉浦 大地	4	2	1	0	投ゴ		三振			右2	二ゴ							
5	遊	川島 敏樹	3	0	0	0	三振		右飛			二飛	四球							
6	三	井上 亮	3	0	0	0	三ゴ			中飛		死球	三振							
7	左	日高 健太	3	1	0	0		死球		三振		遊失		一ゴ						
8	中	井本 匡亮	2	0	0	0		三振		三振										
8	打中	金澤 勇士	2	0	0	0						三振		三振						
9	右	近藤 一輝	3	0	1	0		二安				一失	三ゴ							
合計			30	8	5	1	残塁:3		併殺:0											
備考																				

■バッテリー

投手
望月 優真

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
望月 優真	9	34	2	14	6	1

■戦評

2回戦、駒沢球場の第4試合はこの日の午前中に府中球場で前日からの特別継続試合を戦い勝利した静岡中央高校と2年連続7回目出場の北陸地区代表・石川県立小松北高校の戦いとなった。試合は初回、先攻の小松北が二つの四球で出塁すると盗塁から相手の失策を誘い2点を先制する。その裏静岡中央も振り逃げや内野安打で出塁した走者が足で相手を揺さぶり三つの暴投で3点を奪い試合をひっくり返す。さらに2回には1番望月の適時打で4-2と差を広げる。3回以降立ち直った両先発の前にもに得点を上げられず一転して試合は投手戦となる。再び試合が動いたのは6回裏、静岡中央は一死二・三塁の好機を作ると内野ゴロ悪送球により二者が生還し点差を4点とする。続く7回には相手の失策につけ込み2点を追加した。最終回、小松北は5番中左の適時打などで2点を返し意地を見せるも後続が断たれ試合終了。8-4で静岡中央がベスト8に進出した。一方、敗れた小松北は先発福田が5安打10奪三振と好投しただけに得点圏での再三の暴投が痛かった。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

佐賀県立佐賀北高校・通 対 千葉県立東葛飾高校

■球場 府中市民球場 第1試合 2回戦

■試合時間 2時間11分 ■備考 中断2分(怪我)

■審判 球審:原田 塁審:鹿野 大田 嶋田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
東葛飾	千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	3	0
佐賀北・通	西九州・佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4

東葛飾		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	投	馬場 有希	4	0	0	0	投ゴ		遊飛			投失		投飛				
2	左	高城 祐宗	3	1	1	0	三振			二飛		三安			四球			
3	遊	松澤 智啓	4	1	1	0	二ゴ			右飛		捕邪			右安			
4	捕	藤岡 俊	4	0	0	0		振逃		一ゴ		三振			遊飛			
5	三	田村 祐貴	4	1	0	0		三振			三振		三振		一選			
6	二	尾身 竜走	3	1	0	1		投飛			三振		捕邪		四球			
7	右	花崎 尚武	3	1	1	1		三振			投安		投ゴ		犠失			
8	一	松田 龍世	3	0	0	1			三振		遊ゴ			三振	二犠			
9	中	木村 俊彦	4	0	0	0			投ゴ			遊飛		投ゴ	三振			
合計			32	5	3	3	残塁:4		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
馬場 有希

捕手
藤岡 俊

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場 有希	9	34	5	9	2	0

佐賀北・通		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	遊	平山 隼人	3	0	1	0	死球	中安			右邪		遊ゴ					
2	右	駒井 貴斗	4	0	0	0	二選		捕邪		二ゴ			三振				
3	一	佐藤 滉平	3	0	0	0	三ゴ		死球		二ゴ			一ゴ				
4	捕	中村 翔平	4	0	0	0	三振		三ゴ			三振		二ゴ				
5	三	吉田 康人	3	0	0	0	一ゴ		一ゴ			三振						
5	打	福丸 慎也	1	0	0	0									中飛			
6	二	藤田 磨和	4	0	2	0		投安		三振		中安			遊飛			
7	投	塚本 昇	4	0	2	0		左安		左3		捕飛			二飛			
8	左	小森 頌之	1	0	0	0		三振										
8	打 左	森 一也	2	0	0	0				二ゴ			三振					
9	中	堀川 翼	3	0	0	0		三振		一ゴ			三振					
合計			32	0	5	0	残塁:7		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
塚本 昇

捕手
中村 翔平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
塚本 昇	9	36	3	11	2	1

■戦評

2回戦、府中市民球場の第1試合(特別継続試合を除く)は7年ぶり11回目出場の西九州地区代表・佐賀県立佐賀北高校と開幕試合で今治精華高校を逆転で下した東葛飾高校の戦いとなった。佐賀北は初回、2回と無死一・二塁の好機を作るも東葛飾の好守に阻まれ先制点を奪えない。4回には7番塚本の三塁打で一死三塁とするもここでもあと1本が出ず無得点に終わる。対する東葛飾は4回まで相手先発塚本の前に無安打に抑えられていたが5回に安打と盗塁で、続く6回には敵失と安打でいずれも得点圏に走者を進めたが得点には至らなかった。7、8回と両先発が踏ん張り0-0で迎えた9回表、東葛飾は四球と安打、野選により一死満塁とすると6番尾身が押し出しの四球を選び待望の1点を先制する。続く7番花崎はスクイズを敢行。この打球を処理した投手が悪送球さらにはカバーに入った野手にも失策が重なる間に走者が一掃し一挙3点を奪う。その後1点を追加し合計5点を奪った東葛飾がその裏の佐賀北の攻撃を三者凡退に抑え5-0で勝利。ベスト8に進出した。一方、敗れた佐賀北は前半の再三にわたる好機を生かせなかったことが最後まで響いた。

■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

横浜市立戸塚高校 対 東京都立八王子拓真高校

■球場 府中市民球場 第2試合 2回戦

■試合時間 2時間17分 ■備考

■審判 球審:石島 塁審:斎藤 石塚 渡辺

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
戸塚	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	5	3
八王子拓真	東京1	0	0	0	0	0	1	1	0	×							2	6	1

戸塚		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	村山 勇吾	4	0	1	0	三振			二飛			三安		三ゴ				
2	中	高橋 慶太	4	0	0	0	三振			三振			遊ゴ		二ゴ				
3	投	徳永 護	4	0	1	0	三振			三振			三失		右安				
4	三	小松 拓実	4	0	2	0		三振			遊飛		右安		中安				
5	一	長ヶ部 克樹	3	0	0	0		中飛			三振		三振						
6	右	永田 祥	2	0	0	0		投ゴ			三振								
7	右	小橋 巨明	1	0	1	0									中安				
8	捕	林 悠斗	3	0	0	0			捕邪			中飛		投飛					
9	左	小松 優真	3	0	0	0			遊直			三ゴ		投ゴ					
	二	平澤 修人	3	0	0	0			中飛			三振		投飛					
合計			31	0	5	0	残塁:4 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
徳永 護

捕手
林 悠斗

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
徳永 護	8	35	6	13	2	2

八王子拓真		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	坂本 光	4	0	1	0	投安		三振		投ゴ		投ゴ						
2	二	高沼 一利	4	0	1	0			一失		遊安		二ゴ		投飛				
3	投	小林 遼	2	1	1	0	投犠		三失		四球		中2						
4	中	小林 祐介	4	0	1	1	三振		三振		捕邪		中3						
5	捕	杉田 裕矢	3	1	0	0	三振			一邪		四球	三振						
6	一	大山 拓海	4	0	0	0		三振		遊ゴ		三振		右飛					
7	三	志村 流斗	4	0	0	0		三振		三振		三振		三振					
8	右	柳川 大介	4	0	2	1		三振			右安	中2		投ゴ					
9	左	島崎 佑也	2	0	0	0			二ゴ		投失	三振							
合計			31	2	6	2	残塁:9 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
小林 遼

捕手
杉田 裕矢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
小林 遼	9	31	5	10	0	0

■戦評

2回戦、府中市民球場の第2試合(特別継続試合を除く)は1回戦で前年度準優勝の鳥城高校にコールド勝ちし勢いに乗る戸塚高校と初出場の東京第1代表・東京都立八王子拓真高校の戦いとなった。試合は両軍主戦の意地がぶつかり合う緊迫した投手戦となった。八王子拓真の先発小林遼は初回、戸塚の攻撃を三者連続三振と最高の立ち上がりを見せる。その裏安打と敵失で走者を出すと手堅く犠打で進め一死二・三塁と先制の好機を作るも後続が戸塚の先発徳永の前に連続三振に抑えられ両軍無得点で初回を終える。戸塚の徳永は5回まで走者を背負いながらも八つの三振を奪う力投を見せる。均衡が破られたのは6回裏、八王子拓真は二死一塁から盗塁で好機を広げると8番柳川が適時二塁打を放ち1点を先制する。6回まで一人の走者も出せずにいた戸塚であったが7回表、この回先頭の村山が内野安打で待望の出塁を果たす。しかし続く高橋の打席で村山が盗塁死。二死後敵失と安打などで二・三塁とするも後続が倒れ同点機を逃し攻撃が上手く噛み合わない。その裏八王子拓真は二死から3番、4番に連続長打が出て貴重な追加点を上げる。追いつきたい戸塚は9回、二死からここまで好投を続けていた徳永が自ら安打を放ち最後の粘りを見せる。続く4番小松が中前打で続くも八王子拓真の好返球の前に三塁を狙った徳永が刺され試合終了。2-0で八王子拓真がベスト8に進出した。一方、敗れた戸塚の主戦徳永は13奪三振の力投も味方の援護がなく報われなかった。



■日時 平成24年8月21日(火) ■天候 晴れ

宮崎県立延岡青朋高校・通 対 天理高校

■球場 府中市民球場 第3試合 2回戦

■試合時間 2時間16分 ■備考

■審判 球審:大田 塁審:嶋田 原田 鹿野

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
延岡青朋・通	東九州・宮崎	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	10	4
天理	近畿・奈良	2	0	4	1	0	1	0	0	×	8	8	2

**延岡青朋・通**

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中	米良 卓	5	0	2	2	二直		左安		一ゴ		左2		三振				
2	捕	河野 慎也	4	0	0	0	投ゴ		三振		三振		一ゴ						
3	一投	大隣 優貴	4	0	2	1	中安		中安			三ゴ			三失				
4	投一	高見 昌尚	4	0	0	0		遊直		三振		三振			三振				
5	左	西田 晴貴	4	0	1	0		三ゴ		左安		三振			三振				
6	三	高倉 大輝	4	0	2	0		三安		遊安			投ゴ	遊ゴ					
7	二	寺尾 憲大	4	1	1	0		投飛		二ゴ			左安		一ゴ				
8	遊	甲斐 健太郎	4	1	1	0			二飛	二ゴ			遊失		中安				
9	右	甲斐 亮太	4	1	1	0			二安		遊ゴ		三振		三振				
合計			37	3	10	3	残塁:7 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
高見 昌尚
大隣 優貴

捕手
河野 慎也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高見 昌尚	4	22	5	3	4	3
大隣 優貴	4	17	3	0	1	0

**天理**

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中	飯田 佳伸	4	2	1	0	四球	三振		三安		三邪		三飛					
2	左	松下 賢太郎	4	1	1	1	四球	遊ゴ		遊ゴ		中安		三ゴ					
3	二	田頭 史也	4	1	1	2	左2		死球	二ゴ		投飛		一ゴ					
4	遊	西井 旬進	3	0	1	0	遊安		三振	三邪									
4		餘目 航	0	0	0	0						四球							
5	三	福澤 眞林	2	1	1	1	中安		四球		三ゴ								
5		矢野 孝平	1	0	0	0						中飛							
6	一	小阪 慎	4	0	1	0	三ゴ		一邪		三ゴ		中2						
7	投	九島 恒	2	1	0	0	二ゴ		三失										
7		辰己 優貴	2	0	1	0					中安		遊失						
8	捕	山本 侃	4	1	1	2	左飛		右2		二直		中飛						
9	右	加藤 幸	4	1	0	0		三振	遊ゴ			投失	中飛						
合計			34	8	8	6	残塁:7 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
九島 恒
辰己 優貴

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
九島 恒	4	17	7	2	0	1
辰己 優貴	5	20	3	8	0	0

■戦評

2回戦、府中市民球場の第3試合(特別継続試合を除く)は初出場の東九州地区代表・宮崎県立延岡青朋高校通信制と1回戦を磐石の試合運びでコールド勝ちした天理高校の戦いとなった。天理は初回、二者連続四球から3番、4番が連続適時打を打ちますは2点を先制する。延岡青朋も3回、3番大隣の適時打で1点を返す。しかしその裏天理は8番山本の2点適時二塁打や足を絡めた攻撃で4点を奪い試合を優位に進める。天理は4回、6回にも1点ずつを加え8-1で試合は終盤へ。7回表、延岡青朋は安打と敵失で好機を作ると二死から1番米良が2点適時二塁打を打ち5点差に縮める。しかし延岡青朋の反撃もここまで。8回、9回と得点を奪えず、結果延岡青朋より少ない安打数ながら確実に得点を重ねた天理が8-3で勝利しベスト8に進出した。一方、敗れた延岡青朋は3回表、1点差に迫るとなお二死・三塁と好機を作っていただけにこの場面の牽制死が痛かった。

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ

師友塾高校・通 対 兵庫県立西宮香風高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 準々決勝 ■試合時間 2時間08分 ■備考

■審判 球審:清水 塁審:進士 高畑 江口

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
西宮香風	兵庫	0	0	0	2	0	0	0	0	0						2	7	1
師友塾・通	西中国・広島	0	0	0	0	0	0	0	1	0						1	7	2

西宮香風		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	中		上田 春樹	4	0	1	0	右3		左飛		四球		遊飛		一飛					
2	左		中山 裕士	5	0	1	0	三ゴ		捕邪	左安		投ゴ		一飛						
3	一		佐藤 勇樹	4	0	1	0	左2		中飛	遊飛				三振						
4	遊		土井 一生	4	1	0	0	二併		二失		遊飛		二飛							
5	三		佐藤 魁斗	4	1	1	0		三振	遊失	捕邪			左3							
6	捕		出上 毅	2	0	1	2		投飛	左安			四球		四球						
7	右		望月 直哉	4	0	0	0		三ゴ	三振		右飛		三振							
8	二		藤原 大貴	3	0	2	0			中安		三ゴ		四球		左3					
9	投		河邊 勇太	3	0	0	0			投併		三ゴ		捕犠		三ゴ					
合計				33	2	7	2	残塁:9 併殺:2													
備考																					

■バッテリー

投手
河邊 勇太

捕手
出上 毅

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
河邊 勇太	9	37	7	5	3	0

師友塾・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	捕		力武 充	4	1	1	0	遊ゴ		四球			右安		投失	一ゴ					
2	一		山中 偉央	4	0	1	0	三邪		一ゴ			二飛		左安						
3	中		上島 巧也	4	0	1	1	三ゴ			遊ゴ		遊ゴ		右安						
4	投		弦巻 陽平	3	0	1	0		三振		四球		右飛		中安						
5	三		白川 溪太	4	0	1	0		右3		遊飛			一ゴ	遊飛						
6	二		鈴木 和寿	4	0	0	0		三振		遊飛			遊ゴ	遊ゴ						
6		二	高橋 健太	0	0	0	0														
7	右		吉田 嗣実	2	0	0	0			二ゴ		三振									
7	打	右	高橋 拓実	2	0	1	0							左安		捕邪					
8	左		琴谷 惣一	3	0	1	0			左安		三振		三ゴ		死球					
9	遊		檜崎 敏秀	4	0	0	0			投飛		三ゴ			三振	投ゴ					
合計				34	1	7	1	残塁:9 併殺:0													
備考																					

■バッテリー

投手
弦巻 陽平

捕手
力武 充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
弦巻 陽平	9	38	7	4	4	0

■戦評

大会3日目、神宮球場での準々決勝第1試合はともに昨年この準々決勝で敗れた師友塾高校と西宮香風高校の一戦となった。試合はベスト4を争うにふさわしい接戦となった。先攻の西宮香風は初回、1番上田、3番佐藤勇に長打が出るも師友塾の好守に阻まれ無得点に終わる。対する師友塾も2回、5番白川に三塁打が出るが西宮香風が踏ん張り無得点。試合の均衡が破られたのは4回表、西宮香風は二つの敵失と暴投で二死ながら二・三塁とするも6番出上が左前適時打を打ち2点を先制。その後5回から8回まで毎回のように得点圏に走者を置いても師友塾先発弦巻の粘りの投球の前に追加点を奪えない。弦巻の好投にたい師友塾は8回裏、一死から1番、2番が敵失と安打で一・三塁と好機を作る。ここで3番上島が適時打を打ち1点を返し2-1。さらには4番弦巻が中前打でつなぎ満塁とし一打逆転の場面を迎える。しかしここから西宮香風の主戦川邊が気迫の投球で後続を内野への飛球とゴロに抑え2-1のまま試合は最終回へ。9回表、西宮香風は三塁打で無死三塁とするも今度は師友塾の弦巻がこの場面を気迫で無失点に抑え最終回の味方の攻撃に全てを託す。9回裏、師友塾は一死から四球で出塁するも後続が打ち取られ試合終了。息詰まる接戦をものにした西宮香風がベスト4に名乗りを上げた。一方、惜しくも敗れた師友塾にとっては4回二死からの連続失策が何とも悔やまれる結果となった。また完投した弦巻の投球内容は敗れたとはいえ称讃に値するものであった。

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ

宮城県貞山高校 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 明治神宮野球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 1時間45分 ■備考

■審判 球審:橋本 塁審:茂木 高畑 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
貞山	南東北・宮城	0	0	0	1	0	0	0	0	0							1	5	3
静岡中央	山静・静岡	4	0	2	1	0	0	0	0	X							7	7	0

貞山		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	二	星 昇太	4	0	0	0	三振		三振		三ゴ				三ゴ						
2	捕	平田 智暁	4	0	1	0	左安		中飛			中飛			三振						
3	遊	齋藤 裕弥	4	1	1	0	二ゴ			遊安		三ゴ			三飛						
4	中	佐々木 裕也	4	0	1	0	一邪			三ゴ		三ゴ			遊安						
5	一	野邊 繁輝	4	0	0	1		一飛		一ゴ			遊ゴ		投ゴ						
6	投	三	一井 春己	2	0	0	0		四球		二飛			右直							
7	左	伊藤 健太	3	0	1	0		三振			三安		一邪								
8	右	佐藤 智将	3	0	1	0			三安		遊飛			右飛							
9	三	平山 美心	1	0	0	0			二飛												
9	投	和田 天風	1	0	0	0				三犠				中直							
合計			30	1	5	1	残塁:4 併殺:0														
備考																					

■バッテリー

投手
一井 春己
和田 天風

捕手
平田 智暁

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
一井 春己	3 2/3	20	6	4	0	3
和田 天風	4 1/3	14	1	7	1	0

静岡中央		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	遊	望月 優真	4	2	2	0	中2	中3		三失		投飛									
2	一	多々良 光沙希	2	0	0	2	投犠	遊直		投犠			三振								
3	二	繁田 紘輝	4	1	1	0	中安	三振		二ゴ			三振								
4	捕	杉浦 大地	4	2	2	0	左2		中2		二ゴ		投ゴ								
5	右	川島 敏樹	4	2	1	3	一失		中本		三振			三振							
6	三	井上 亮	3	0	0	1	二ゴ		投ゴ		死球			三振							
7	左	日高 健太	4	0	1	1	三失		左直		右安			三振							
8	中	金澤 勇士	3	0	0	0	三振		三振			捕ゴ									
9	投	近藤 一輝	3	0	0	0		三振		三ゴ		三振									
合計			31	7	7	7	残塁:3 併殺:0														
備考																					

■バッテリー

投手
近藤 一輝

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 一輝	9	32	5	4	1	1

■戦評

大会3日目、神宮球場での準々決勝第2試合は2回戦をコールド勝ちした貞山高校と前日の午前中に延べ2日に渡る熱戦を制した方から勢いそのままに小松北に打ち勝った静岡中央高校との勢いに乗るチーム同士の戦となった。1回裏、静岡中央は1番望月が中堅越二塁打で出塁すると続く2番多々良が初球をきっちり送る。ここで二塁走者の望月が好走塁を見せ一気に本塁を陥れ早くも1点を先制する。続く3番、4番の連打に相手の二つの失策が絡んでこの回合計4点を上げ試合の主導権を握った。さらに3回には5番川島が2点ランニング本塁打を打ち6-0と点差を広げる。反撃に転じたい貞山は4回表、この回先頭の齋藤が内野安打で出塁するとこちらも次打者の内野ゴロの間に一気に三塁を陥れる好走塁で好機を広げる。続く内野ゴロの間に生還し1点を返し6-1とする。しかし静岡中央はその裏1番望月が敵失で一挙に二塁まで進塁するとすぐさま三盗を決める。さらにはここで2番多々良がスクイズを決め再び点差を6点とした。静岡中央の先発近藤は5回以降1奪三振ながらテンポの良い打たせて取る投球で貞山の反撃を封じ7-1で勝利した。静岡中央はこれで2年連続のベスト4進出となった。一方、敗れた貞山も4回途中から救援した2番手和田が静岡中央打線を被安打1、7奪三振と抑えただけに序盤の失点が大いに悔やまれる結果となった。

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ 千葉県立東葛飾高校 対 東京都立八王子拓真高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 準々決勝 ■試合時間 2時間10分 ■備考

■審判 球審:宗像 塁審:伊藤 田中 宇田川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
八王子拓真	東京1	2	0	1	0	1	1	0	0	1	6	8	4
東葛飾	千葉	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3	4	5

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失			
1	遊		坂本 光	4	2	2	0	四球	右安		三ゴ		遊ゴ				投安					
2	二		高沼 一利	3	1	0	0	四球	投併			二ゴ		遊ゴ			投犠					
3	中	三	小林 遼	5	0	2	0	投飛		左安		投ゴ		左2			投ゴ					
4	投		小林 祐介	5	2	1	0	中安		二ゴ		三失		右飛			遊失					
5	捕		杉田 裕矢	5	0	1	1	二ゴ		左安		三失		二ゴ			投ゴ					
6	一		大山 拓海	4	0	1	1	中安		二ゴ		投ゴ				二ゴ						
7	三	右	志村 流斗	4	0	0	0	右飛		遊ゴ			二ゴ			三振						
8	右	中	柳川 大介	3	1	1	0		三ゴ		三ゴ		右安			死球						
9	左		島崎 佑也	4	0	0	0		二失		二ゴ		三ゴ			投飛						
合計				37	6	8	2	残塁:8 併殺:0														
				備考																		

■バッテリー

投手
小林 祐介

捕手
杉田 裕矢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
小林 祐介	9	34	4	10	4	2

東葛飾		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失		
1	投	遊	馬場 有希	3	1	0	0	三振		四球		一ゴ				三邪					
2	左		高城 祐宗	3	1	1	0	三振		三安			四球			三ゴ					
3	遊	投	松澤 智啓	4	0	0	0	三ゴ		三振			遊飛			三ゴ					
4	捕		藤岡 俊	4	1	1	0		右安		三振		一ゴ			三振					
5	三		田村 祐貴	4	0	2	1		三振		三失		右3			左安					
6	二		尾身 竜走	3	0	0	0		三振		遊ゴ		三振			四球					
7	右		花崎 尚武	4	0	0	0		投失		三振			捕ゴ		捕邪					
8	一		松田 龍世	3	0	0	0		一ゴ			三振		遊ゴ							
9	中		木村 俊彦	2	0	0	0			四球		遊ゴ		遊飛							
合計				30	3	4	1	残塁:4 併殺:1													
				備考																	

■バッテリー

投手
馬場 有希
松澤 智啓

捕手
藤岡 俊

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
馬場 有希	6	28	6	0	2	3
松澤 智啓	3	13	2	1	1	1

■戦評

大会3日目、駒沢球場での準々決勝第1試合は2回戦、0-0で迎えた9回に一挙5点を上げ勝ち進んだ東葛飾高校と同じく2回戦を投手戦で制した八王子拓真高校の関東勢同士の一戦となった。八王子拓真は初回、これが三連投となる東葛飾先発馬場の立ち上がりを攻め6番大山の適時打などで2点を先制する。初回を三者凡退に抑えられた東葛飾は2回に八王子拓真の守備の乱れから1点を返す。3回にも両軍1点ずつを取り合い3-2で迎えた5回表、八王子拓真は相手の二つの失策により1点を追加。続く6回にも8番柳川が安打で出塁し内野ゴロで二塁に進めると三盗を試みる。これが相手の悪送球を誘い5-1と点差を広げる。追いつがる東葛飾は6回、四球で出た走者を二塁に置いて5番田村が右翼越適時三塁打を放ち1点を返すも後続が打ち取られこの回1点止まり。9回にも手堅く1点を加えた八王子拓真が6-3で逃げ切り初出場ながらベスト4に名乗りを上げた。八王子拓真の先発小林祐介は今大会初登板ながら10奪三振3失点(自責2)の好投を見せた。一方、敗れた東葛飾は得点圏に進めたランナーが三度牽制で刺されたのが痛かった。また三連投の主戦馬場が6安打を浴びながらも粘投していただけに5失策と野手陣が足を引っ張る形となり無念の敗戦となった。

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ

天理高校 対 京都府立朱雀高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 2時間01分 ■備考

■審判 球審:遠藤 塁審:家田 杉田 渡辺登

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
朱雀	京都	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6	4
天理	近畿・奈良	0	0	0	0	0	1	1	4	×	6	11	4

朱雀		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	左	黒木 竣太	3	1	0	0	三失		遊ゴ		死球		投飛					
2	三	松川 哲也	3	0	0	0	三犠		遊飛		一ゴ			三振				
3	捕	氏家 陣也	4	0	0	0	二失		一ゴ			三振		一ゴ				
4	遊	村上 智	3	0	0	1	中犠			左飛		二失		三振				
5	二	水谷 友哉	4	1	3	0		右安		投ゴ		右安			右安			
6	投	舩越 徹	3	0	2	0		投犠		左安		中安			二ゴ			
7	中	中村 圭佑	4	0	0	0		三ゴ		投ゴ		三ゴ			三失			
8	右	大嶋 将且	4	0	1	1		左安			捕邪		三振		遊ゴ			
9	一	仲谷 凌	4	0	0	0		三ゴ			三振		二ゴ		右飛			
合計			32	2	6	2	残塁:6		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
舩越 徹

捕手
氏家 陣也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
舩越 徹	9	37	11	1	2	3

天理		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中	飯田 佳伸	4	1	1	0	三ゴ		四球		右安	遊ゴ	中飛					
2	左	松下 賢太郎	4	1	2	0	左安		中飛		投飛		左安					
3	二	田頭 史也	4	1	1	0	二ゴ			投ゴ		二失		二安				
4	遊	西井 旬進	4	1	2	0		三ゴ		三ゴ		遊安		三安				
5	三	福澤 眞林	4	0	1	2		二飛		三振		中飛		左安				
6	捕	山本 侃	3	1	1	0		左安			左飛		三ゴ	犠失				
7	一	小阪 慎	3	1	2	1			左安		右飛		左2	死球				
8	投	九島 恒	1	0	0	0			三犠		右飛							
8	投	辰己 優貴	2	0	0	0							投ゴ	遊ゴ				
9	右	加藤 幸	4	0	1	1			捕邪			投ゴ	中2	一ゴ				
合計			33	6	11	4	残塁:7		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
九島 恒
辰己 優貴

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
九島 恒	6	25	5	2	1	1
辰己 優貴	3	11	1	3	0	0

■戦評

大会3日目、駒沢球場での準々決勝第2試合は1、2回戦をともに危なげなく勝ち進んだ天理高校と朱雀高校という昨年の準決勝と同じ顔合わせになった。先攻の朱雀は初回、先頭打者が敵手で出塁すると手堅く犠打で送りさらに敵手で一死一・三塁となると4番村上がきっちり中堅へ犠飛を打ち上げ1点を先制する。続く2回も安打で出塁した先頭打者をまたも犠打で確実に進めると今度は8番大嶋が左前適時打を打ち1点を追加する。この大会初めて追いつける展開となった天理は1、2回とも出塁はするものの盗塁失敗と牽制で走者が刺されてしまう。さらに3回には二死二・三塁の好機を作るが無得点に終わるなど流れを呼び込めない。追加点を上げたい朱雀は6回、敵失と安打で一死一・二塁と好機を作ると6番舩越の放った打球は中前へ。朱雀待望の追加点かと思われた矢先天理の好守に阻まれ二塁走者が本塁犠死。後続も打ち取られ追加点を奪えない。守備から流れをつかみたい天理はその裏朱雀の二つの失策を見逃さず1点を返す。続く7回、この回から救援した2番手辰己が朱雀打線を三者凡退に抑えると一気に流れは天理に傾く。その裏二死三塁から9番加藤の適時二塁打で同点に追いつく。しかしながら朱雀もここから踏ん張り後続を抑え逆転は許さず流れを完全に天理には渡さない。勢いに乗った天理は8回裏、三者連続安打で無死満塁とする5番福澤が左前へ2点適時打を打ちついに試合をひっくり返す。さらにこの回2点を加え4点差とし試合は最終回へ。粘る朱雀は先頭の水谷がこの試合3本目となる安打で出塁し二死ながら二・三塁と攻め込むが後続が断たれ試合終了。天理がベスト4に進出した。一方、朱雀の手堅い攻撃と好守は大いに天理を苦しめ敗れたとはいえその存在感は光っていたといえるだろう。

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ 兵庫県立西宮香風高校 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 準決勝 ■試合時間 1時間46分 ■備考

■審判 球審:田中 塁審:伊藤 宗像 宇田川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
西宮香風	兵庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	6	2
静岡中央	山静・静岡	0	0	0	0	0	4	1	0	×							5	8	1

西宮香風		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	中		上田 春樹	2	0	0	0	二飛		捕犠		二飛			死球							
2	一	左	中山 裕士	4	0	2	0	三邪			投安		一安		投失							
3	投	一	佐藤 勇樹	4	0	2	0	中2			三安		三ゴ			投ゴ						
4	遊		土井 一生	4	0	0	0		遊飛		投飛		投飛			三飛						
5	三		佐藤 魁斗	3	0	1	0		投安		三振				二ゴ	死球						
6	捕		出上 毅	2	0	0	0		死球		四球				三振	左飛						
7	二		藤原 大貴	3	0	0	0		二直		三ゴ				三振							
8	右		望月 直哉	3	0	1	0			右安		三振				左飛						
9	左		寺崎 裕文	2	0	0	0			捕飛		右飛										
9		投	河邊 勇太	1	0	0	0									三ゴ						
合計				28	0	6	0	残塁:6		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
佐藤 勇樹
河邊 勇太

捕手
出上 毅

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
佐藤 勇樹	6	25	6	3	2	4
河邊 勇太	2	7	2	0	0	1

静岡中央		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	遊		望月 優真	3	1	1	0	三ゴ			中飛		投犠	左2								
2	一		多々良 光沙希	3	1	2	1	二ゴ			一安		死球	左安								
3	二		繁田 紘輝	4	1	0	0	三振			一ゴ		投ゴ		投ゴ							
4	捕		杉浦 大地	4	1	2	1		遊ゴ		左安		遊安		遊ゴ							
5	投		川島 敏樹	4	1	1	0				一邪				遊飛							
6	三		井上 亮	3	0	1	2		三邪			一ゴ	左安									
7	左		日高 健太	2	0	0	0			三振		四球	一ゴ									
8	右		近藤 一輝	3	0	0	0			三邪		三振		二ゴ								
9	中		金澤 勇士	3	0	1	0			中飛			中安	右飛								
合計				29	5	8	4	残塁:3		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
川島 敏樹

捕手

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
川島 敏樹	9	33	6	4	4	0

■戦評

準決勝第1試合は午前中、ともに神宮球場で行われた準々決勝において師友塾高校との投手戦を制した西宮香風高校と貞山高校に完勝した静岡中央高校の顔合わせとなった。西宮香風は佐藤勇、静岡中央は川島、ともに今大会初戦で好救援した投手にマウンドを託す。1回表、西宮香風は3番佐藤勇の二塁打で二死二塁の好機を作るも先取点を奪えない。2回、3回にも続けて得点圏に走者を進めるも静岡中央川島の巧みな牽制に掛かり好機を潰す。4回には無死二・三塁、二死満塁と攻め立てるもあと1本が出ず本塁が遠く得点を上げられない。均衡が破られたのは6回裏、ここまで打っては4回の2安打のみに封じられ守っては再三得点圏に走者を置きながら踏みとどまっていた静岡中央がついに流れを掴む。安打と死球に暴投が絡み二死二・三塁から相手の牽制悪送球により1点を先制する。さらに4番杉浦、5番川島、6番井上の三者連続安打でこの回一挙4点を上げる。続く7回にはこの回から登板した西宮香風の主戦川邊から1番望月、2番多々良が連打を放ち1点を追加し試合を決めた。静岡中央先発川島は尻上りに調子を上げ西宮香風の強力打線を5安打完封。数少ない好機を生かした静岡中央が5-0で勝利し1年ぶりに決勝に駒を進めた。一方、惜しくも三位となった西宮香風であったがこの試合では再三に渡る走塁ミスで好機を潰したのが痛かった。しかしながら主戦川邊を中心とした好守のまともは全国三位の名にふさわしいものであったことはいまでもないだろう。

■日時 平成24年8月23日(木) ■天候 晴れ

天理高校 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 決勝 ■試合時間 2時間09分 ■備考

■審判 球審:家田 塁審:松山 田中 渡辺

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理	近畿・奈良	3	0	0	3	0	1	1	0	1	9	11	1
静岡中央	山静・静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	中		飯田 佳伸	3	2	1	0	左2	四球		二ゴ		捕犠		三選				
2	左		松下 賢太郎	4	0	1	3	三犠	遊ゴ		左2		投ゴ		投飛				
3	二		田頭 史也	3	1	0	0	四球		三振	三振		左飛						
3	打		牛尾 翔	1	0	0	0								捕飛				
3		二	餘目 航	0	0	0	0												
4	遊		西井 旬進	5	1	0	0	三失		投ゴ		遊ゴ		三ゴ		一邪			
5	捕		山本 侃	5	2	2	2	左3		遊ゴ		左安		三失		右失			
6	三		福澤 眞林	5	0	1	1	三振			二ゴ	投ゴ		左安		遊ゴ			
7	一		小川 正直	3	0	1	0		捕邪		右安	中直							
7	打	一	小阪 慎	2	0	0	0							遊併		二飛			
8	投	右	九島 恒	4	2	3	0		二安		一安		左3		捕邪				
9	右		加藤 幸	2	1	1	0		投犠		三安		左失						
9		投	辰己 優貴	1	0	1	0								左安				
9		右	久米 恭介	0	0	0	0												
合計				38	9	11	6	残塁:7		併殺:1									
備考																			

■バッテリー

投手
九島 恒
辰己 優貴
九島 恒

捕手
山本 侃

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
九島 恒	6	20	0	2	2	0
辰己 優貴	2	7	1	2	0	0
九島 恒	1	4	1	0	0	0

静岡中央		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	遊	投	望月 優真	2	0	0	0	右飛			死球		四球			三ゴ			
2	一		多々良 光沙希	4	0	0	0	三ゴ			三振		左直			投ゴ			
3	二		繁田 紘輝	4	0	1	0	中飛			三ゴ			右飛		遊安			
4	捕		杉浦 大地	4	0	0	0		三ゴ		中飛			一邪		右飛			
5	投	遊	川島 敏樹	3	0	1	0	投ゴ				捕飛		遊安					
6	三		井上 亮	3	0	0	0	一ゴ					二ゴ		中飛				
7	左		日高 健太	2	0	0	0			三ゴ		三振							
7		左	金澤 勇士	1	0	0	0								三振				
8	右		近藤 一輝	2	0	0	0			二ゴ			二ゴ						
8	打	右	古郡 芳紀	1	0	0	0								三振				
9	中		井本 匡亮	2	0	0	0			遊ゴ			三ゴ						
9	打	中	渡部 浩太郎	1	0	0	0								右飛				
合計				29	0	2	0	残塁:4		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
川島 敏樹
望月 優真

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
川島 敏樹	5 0/3	26	9	3	2	7
望月 優真	4	17	2	0	0	0

■戦評

第59回大会の決勝戦は六連覇に挑む天理高校と48回大会以来2度目の優勝を目指す静岡中央高校の対決となった。両軍ともに1回戦から勝ち上がってきており、今大会は順調に大会が消化されたため互いに4日連戦で迎える決勝となった。天理はここまで3試合に先発している九島に、静岡中央は昨日の準決勝で西宮香風打線を5安打完封した川島に決勝のマウンドを託す。9時2分、家田球審の右手が上がって決勝戦が幕を開けた。先攻の天理は初回、試合開始のサイレンの鳴り止まぬうちに先頭の飯田が川島の初球を捉え二塁打とし早くも好機を作ると適失の間に難なく1点を先制する。さらに5番山本が2点適時三塁打で続き初回到3点を奪う。天理先発九島は序盤の3回を一人の走者も許さない完璧な投球で最高の立ち上がりを見せる。2回以降持ち直したかに見えた静岡中央先発川島に4回、天理打線が再び襲いかかる。7番小川からの三者連続安打で満塁すると一死後2番松下が右翼越えに走者一掃の適時三塁打を放ち6-0と点差を広げる。何とかしたい静岡中央であったが6回まで天理先発九島の前に無安打に抑えられる。7回この代わった2番手辰己から5番川島が自軍の初安打を放つのがやっと。天理は6、7、9回にも相手の失策を確実に得点に結びつけ1点ずつを追加する。9回裏、天理は再びマウンドに久島を送る。1安打を許すものの最後は静岡中央の4番杉浦を右飛に打ち取るとマウンドに歓喜の輪ができた。この試合も終わってみれば9-0と天理の大勝であった。一戦ごとに地力を発揮し磐石の試合運びで天理が六連覇の偉業を達成し4日間の熱戦は幕を閉じた。惜しくも準優勝となった静岡中央は初戦の長尾谷との2日間に渡る戦いをはじめ1番望月を中心とした隙のない走塁で得点を重ね、粘り強く最後まで諦めない野球で優勝した天理同様、大いに熱戦を盛り上げたことを最後に記しておく。